



## 2020年度 第4回例会(Webinar) 「予測モデリングにおける誤差評価に関する研究」

公式CPD：1.5単位  
＜データサイエンス＞

今回は、データサイエンス関連基礎調査WGにご協力いただき、2020年3月発行のアクチュアリージャーナル第110号に掲載された「予測モデリングにおける誤差評価に関する研究報告」について、概要や前提となる知識について説明したうえで、米国の医療費データセットを用いたケーススタディについて解説します。

アクチュアリーがデータに基づく予測を行う際には、予測値だけでなく、そのばらつきにも関心を持つことが多いでしょう。ところが、現状では、一般的なデータサイエンスの研究は、予測精度を向上させることに主眼が置かれており、予測値のばらつきについては、アクチュアリーが業務に活用できるほど十分には行われていないと思われます。そこで、日本アクチュアリー会データサイエンス関連基礎調査WGでは、扱うモデルの種類によらない汎用的な誤差測定方法を研究しています。現時点での成果は2020年3月発行のアクチュアリージャーナル第110号に「予測モデリングにおける誤差評価に関する研究報告」として掲載されています。

今回は、会員に広く本研究の成果を理解いただき、今後議論を深められるよう、本研究の概要や本研究を理解するにあたって必要な予測モデリングの基礎知識について説明したうえで、米国の医療費データセットを用いたケーススタディについて解説します。

◆日時 : 2020年12月22日(火) 18:00 ~ 19:30

※例会のWebinar化に伴いまして、当日参加が難しい方のために、録画動画の再放送を実施します。再放送を視聴の場合も当日参加と同様に出席と見做して公式CPD単位を取得可能ですので、当日の参加が難しい方は是非ご活用ください。再放送の日程は次の通りです。

【 12月29日(火) 18:00 ~ 19:30 】

再放送の参加方法等は前日28日(月)の正午までに改めてご案内いたします。

◆会場 : ZoomによるWebinar開催(定員 先着500名)

◆講師 : 山田 龍太郎 氏(ウイリス・タワーズワトソン)  
平松 雄司 氏(アクサ生命)  
渡辺 努 氏(第一生命)

◆参加登録 : 別紙をご参照ください。定員に空きがあれば、開催時刻まで登録は可能です。

※登録の際にご入力いただく氏名・会員番号は、例会当日のCPD単位のための出席確認に利用します。  
お間違えのないよう、正確にご入力をお願いいたします。

◆講演資料 : 当会Webサイトからダウンロードしてください(12月15日(火)頃掲載予定)。

### ■データサイエンス関連基礎調査WGについて

データサイエンス関連基礎調査WGは、会員のデータサイエンスに関する知識・技術の向上に向けて、データサイエンスに関する具体的な調査・研究を推進するため、2019年度に新設されました。

「データサイエンスが会員にとって利用しやすくなるよう、これらのデータサイエンス関連の基礎的な事項について、調査・研究し、成果を会員に広く伝える」ことをミッションとしています。